巻/頭/言

# 製品と共に歩むプラント建設工事

社会インフラ事業本部
プラント建設統括部長

前田　浩

三菱電機製品の最終ランナーとして製品と共に歩んでまいりましたプラント建設工事部門は，設立56年を迎え，これもひとえに当社製品のご愛顧，ご支援・ご指導の賜と深く感謝する次第である。

戦後，1946年(昭和21年)に現在の工事部門の前身である施設部に電気工事課が設立され，その後，我が国の急速な経済発展に伴い，メーカーとして機器単体販売のみに終始するのではなく，多様化する各種プラントのシステムをトータルエンジニアリングすべく，得意の電気分野技術のみならず土木・建築・機械等の最先端技術を駆使する総合電機メーカーとして，総合建設工事部門へのチャレンジを重ねてきた。

納入したプラントは，人々の生活の基盤に密着したものが多く，トラブルが発生すると社会的な損失を与えるため機器製作部門と一体となった安全・品質(現地工事の品質含む)が求められ，また，バブル崩壊後，各種プラント建設費の下落が続き，プラント建設工事コストの削減が求められてきた。さらに，環境管理・IT化推進に注目が集まる社会情勢の中にあって，次の点に注力しプラント建設工事を展開している。

⑴　安全管理

現地建設工事での無事故・無災害を実践するために作業チーム全員による危険予知活動(TBM−KY)，５S(整理・整頓・清潔・清掃・躾(しつけ))推進活動等を実施し，安全の指導・点検を充実している。2002年度には労働安全衛生マネジメントシステム(OHSMS)導入し，安全衛生管理の標準化と体系化を図っている。

⑵　品質管理

現地建設工事の品質管理を組織的に明確に計画・実施・改善するために，96年にISO9001を認証取得した。また，作業者の技量を向上・維持するために，技量認定制度を構築し，作業者に対する教育の実施と技量認定試験を実施している。

⑶　環境管理

現地建設工事での環境管理を組織的に計画・実施・改善するために，同業工事部門で国内最初にISO14001を認証取得した。現場での工程短縮を進め、省エネルギー，廃棄物の分別収集，産廃物の削減活動を展開している。

⑷　新工法開発

建設施工技術を結集し徹底したVA(Value Analysis)改善活動を展開し，新工法・省力化・合理化機材の開発によって３K(危険・汚い・きつい)作業を払拭し，作業工数の削減，工期短縮を実現して建設工事コストの削減に努めている。また，開発した合理化機材を管理・保守し，全国現場に配送する機材センターの充実を図っている。

⑸　工程短縮

現地建設工事管理向上のため施工IE(Industrial Engineering)技術手法を導入し，現場での無駄を排除し作業効率を向上させ，さらに，PM(Project Management)手法によって工程管理の精度を向上させ建設工事の工程短縮を実施している。

⑹　現地OA化

現地建設工事の計画・管理の迅速化・精度向上を求めて，工事工程と実績管理をシステム化して現地OA化を図り，全国に点在する建設現場との情報を共有化する情報システムを構築している。

今後も，お客様に接した部門として，お客様とともに，安全・品質確保はもとより，高度化する製品技術に対応できるプラント建設工事を目指し，更なる省力化・合理化を推進し，お客様への提案型ビジネスと顧客満足度の向上に努めていく所存である。